
第 57 報 平成 26 年 2 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【コンクリート用砂 八戸】

青森県八戸地区のコンクリート用砂は荒目（洗い）で m³ 当たり 3,800 円と前月比 300 円上伸した。当地区内の生コンクリート需給が均衡していることから、地元向け出荷は落ち着いているものの、岩手県・宮城県向けの出荷が堅調で、全体として需給は引き締まりを見せている。メーカー側は、生産設備の維持費や輸送コストの上昇を理由に、地区内需要家への売り腰を強めてきたが、ここに来て、砂の安定供給を優先する需要家側が値上げを受け入れたことから、価格は上伸した。先行き、強含み横ばい推移の見込み。

【型枠用合板】

災害復興住宅をはじめとする大型工事の引き合いが多く、需要は堅調に推移している。一方、在庫量は入荷の絞り込みにより急速に減少しており、特に塗装合板は払底状態が続いている。販売側はこれまでの仕入れコスト上昇分を販売価格に転嫁すべく売り腰を強めており、価格も旺盛な需要を背景に上昇している。為替の影響により仕入れコストは上昇しており、当面、強含みで推移する公算が大きい。

【ストレートアスファルト】

東北地区における復興関連工事向け出荷が一服し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災 3 県におけるアスファルト混合物製造量は震災前の 1.5～2 倍の状況が続き堅調に推移している。一方、全国のスト・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給に問題は生じていない。年初から中東産原油価格が下落し、為替が円高に振れたため、国内への原油調達コストは下落。足元で為替が若干ドル高に戻す動きにあり、先行き、横ばいで推移する見通し。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト混合物各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部

TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	2月7日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	2月7日		ひっ迫	横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6,700円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	2月7日		ひっ迫	横ばい
	宮城県	石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	2月7日		ひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	2月7日		ひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	2月7日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2013年 8月号	2,000円/m3上昇 1万7,500円	2月7日		ひっ迫	横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	2月7日		ひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	2月7日		ややひっ迫	横ばい
		福島県	いわき	2012年 11月号	1,000円/m3上伸 1万2,000円	2月7日		ひっ迫
	南相馬		2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	2月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料) (掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	2月7日	コンクリート用砂は荒目(洗い)でm3当たり3,800円と前月比300円の上伸。八戸地区内での生コンクリートの需給動向は均衡しているため、砂メーカーの出荷は八戸地区向けには落ち着きを見せているものの、岩手県・宮城県向けに堅調な出荷を維持しており、需給バランスは引き締まりを見せている。メーカー側では、生産設備の維持に伴うコストの上昇や輸送コストの上昇を理由として、地区内需要家への売り腰を強めてきた。砂の安定供給を優先する需要家側が値上げを受け入れたことから、価格は上伸した。先行き、強含み横ばい推移の見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	2月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	2月7日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	2月7日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	2月7日		ひっ迫	強含み
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	2月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料) 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 単位:m3 (P170~) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,900円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	2月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	2月7日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	2月7日		ひっ迫
	南相馬		2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	2月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	2月7日		ひっ迫	強含み
		仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	2月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	2月7日		ひっ迫
	南相馬		2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	2月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	2月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,800円	2月7日		ややひっ迫	強含み
		大船渡	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,000円	2月7日		均衡	強含み
		久慈	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,300円	2月7日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2013年 8月号	600円/t上伸 1万4,100円	2月7日		均衡	強含み
		宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	2月7日		均衡
	宮城県	石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	2月7日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	2月7日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	2月7日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	2月7日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	2月7日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	2月7日		均衡	横ばい
		福島県	いわき	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,300円	2月7日		均衡
	南相馬		2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	2月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	2月11日	東北の震災復興需要に加え防災・減災関連の需要が全国的に堅調に推移しており、需給の引き締まりから納期には一部遅れがみられる。鋼矢板、鋼管杭ともに引き合いが強まる中、メーカー側が唱える値上げが段階的に浸透している。年度末に向けて、着工が遅れていた物件も含めて、需要は堅調に推移する見通しで、メーカーは今後も強い販売姿勢を維持するとみられる。先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	2月11日	原料の鉄屑価格は、昨年の秋口以降に騰勢を強め、製品価格を押し上げたが、年明け以降に反落した。メーカーは収支の改善を目指し、末端価格の引き上げに注力しているものの、活況を呈した取引は一服。需要家側は様子見の構えに転じている。 今後も堅調な需要が見込まれる中、製販の売り腰は再び強まるとみられるが、鉄屑相場の軟化を背景に、需要家側との交渉は難航が予想される。当面、横ばい。	均衡	横ばい
	セメント	72	セメント(バラ)	2月13日	メーカー側は東北地区を優先に供給を継続している。東京湾岸サービスステーションにおけるセメント貯蔵量は低下傾向となっている。そのため、一部のメーカーでは時間・曜日による出荷制限を余儀なくされている。 こうした背景からメーカー各社とも売り腰を強めており、メーカーでは可能な限り早い時期での値上げを浸透させたいとしており、需要家との交渉を継続している。先行き、需給のタイト化がさらに進む見通しから、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート型枠用合板	2月10日	需要は災害復興住宅をはじめとするまとまった工事の引き合いが多く、堅調に推移している。入荷量の絞り込みにより、在庫量は急速に減少しており、特に塗装合板は払底状態が続いている。販売側はこれまでの仕入れコスト上昇分を販売価格に転嫁すべく売り腰を強めており、価格も旺盛な受注を背景に上昇している。為替の影響により仕入れコストは上昇しており、当面強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用木材	2月10日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いがあり、総じて需要は拡大している。国産材の価格は品薄感より上伸し、外材もつれ高となっている。先行き、強含み横ばいで推移する見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい
230 ～ 237		一般建築用木材	2月10日	住宅向けの基礎用生コンの不足や現場職人の不足により工事全体で工期の遅れが目立っている。一方、引き合いは依然として旺盛で、需要に対して供給が追いつかない状況。このため、価格は上伸。先行き、高止まりで推移する見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250 ～ 252	石油製品	2月13日	<p>堅調な需要を背景に流通側はこれまでの卸価格の上昇分を末端価格へ転嫁すべく売り腰を引き締めているが、1月の元売会社の卸価格が横ばいとなったことから、需要家側との価格交渉は平行線。原油価格、スポット価格ともに小幅な値動きとなっていることから、流通側、需要家側ともに模様眺めの構え。先行き、横ばいで推移しよう。</p> <p>JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は平成24年3月末までに稼動を再開。これにより東日本大震災の影響で稼動を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻っている。</p>	均衡	横ばい
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	2月12日	<p>公共事業の発注状況が例年に比べ好調な上、消費税増税前の駆け込み需要も旺盛で官需民需とも好調に推移している。リース材は東北地区を含め全国的にひっ迫しており、年度末までひっ迫した状況は継続する見通し。需給はひっ迫しているもののリース料金に変動はみられず、先行き、横ばいで推移する見通し。</p>	ひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	266 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	2月12日	<p>東北地区では防潮堤の築造、河川改修等での引き合いが中心。がれきの除去作業は収束に向かいつつあり、需給バランスは均衡している。機械の買い控えが目立つ中、当面、横ばいで推移する見通し。</p>	均衡	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	2月12日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初の見込みより遅れている。需要のピークは3～4月と見られ、リース業者の稼働率は上昇を続けている。特に、鋼製覆工板、大型サイズの鋼製山留材を中心に需給はひっ迫している。また、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが出てきており、急な引き合いには対応出来ない可能性もある。母材となる鋼材価格が上昇しているため、リース業者各社は見積価格を引き上げており、安値受注は回避しているが、賃料上昇が浸透するにはまだ時間がかかる見通し。目先、横ばい。</p> <p>【敷き鉄板】 東北地区は復興関連工事の大口需要により荷動きは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、保有量が多い関東地区も、需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。需給が総じて引き締まった状況の中、各社、見積価格を引き上げており、安値受注は回避しているが、賃料上昇が浸透するにはまだ時間がかかる見通し。目先、横ばい。</p>	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	2月13日	東北地区における復興関連工事向け出荷が一服し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍が続き堅調。一方、全国のスト・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給に問題は生じていない。 年初から中東産原油価格が下落し、為替が円高に振れたため、国内への原油調達コストは下落。足元で為替が若干ドル高に戻す動きにあり、先行き、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	2月10日	メーカーはフル生産の体制を続けているが、旺盛な需要に出荷が追い付かず、流通側の受注残をこなさきれていない。配送状況は先月よりも多少改善されつつあるが、長尺物を中心とした入荷遅れは続いている。国産丸太や接着剤等の原材料価格の上昇を理由にメーカーは値上げを打ち出しており、目先、強含み。	ひっ迫	強含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	2月13日	東北地区は復興関連需要向けが中心で、他地区と比較しても荷動きは堅調に推移している。しかしながら、依然、復興需要の本格化はまだ先の見通しで、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	2月13日	官需では下水道関連に加え一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカー側は原料価格および運搬コスト上昇を理由として、昨年春に続き今月からさらなる値上げを打ち出したが、秋口まで順調だった個人住宅関連需要が戻す様子しており、末端までの浸透には時間を要するものと思われる。 供給体制そのものに問題はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	2月7日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の連続的な発注により、切れ間なく最盛期の状態が続いている。鉄筋工の慢性的な労務不足は、解消の兆しはなく、ゼネコンでは一度雇用した職人を他社案件に行かせないよう、工事が完了しても留め置いているもよう。 専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を弛める姿勢はない。今後、大型案件の施工も本格化することで、さらなる需給ひっ迫状態も見込まれ、強基調で推移しよう。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	426 ~ 429	2月11日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧・復興関連工事が進められている。年度末を控え、新規発注工事と内陸部の建築および土木工事が増加したこともあり、労務不足の解消の兆しは見られない。 一部工事では工期延長、設計労務単価上昇などの要因が重なり、工事費相場は専門工事業者優位で堅調に推移している。このような状況は当面解消されそうもなく、強含み相場が続く見込み。	ややひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	434 ~ 437	2月12日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、引き続き多くの工事が施工されている。加えて、国、自治体の年度末に向けての新規発注も重なり各社とも工事量は十分確保されており、一部では不調がみられる状況。そうした状況の中、型枠工は慢性的に労務不足となっており、労働者および型枠材のひっ迫した調達状況は解消されそうにない。 施工業者側は型枠および労働者確保を優先せざるを得ない状況であることから、相場形成は専門工事業者主導となっており、先行き、型枠工事相場は強含みでの推移となりそう。	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	2月10日	被害のあった沿岸部では、物流倉庫や水産加工場などの物件が継続的に見られる。また、内陸部では、庁舎やオフィスビル、復興公営住宅などの新設工事などの需要が堅調に推移している。地元の専門工事業者だけでは現状の工事を消化しきれず、隣県などからの協力体制が見られる。例年、この時期は職人の稼働率が落ち着く頃だが、これまでの物件の工期や工程の遅れのため、新規受注が出来ない状態で、稼働率は高水準を保っている。このため、総合工事業者側では、現場に必要な職人確保に苦慮している。当面、このような職人の不足感が解消される見込みはなく、引き続き、強含み推移。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	2月10日	沿岸地域を中心に、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が本格化していることに加え、住居・オフィスビルの需要が増大している。全国的に型枠工不足は鮮明化しており、総合工事業者は専門工事業者側の職人調達コスト上昇分の値上げを受容し、職人確保を優先する姿勢を見せている。労務需給のタイト感はいしばらく続くと見られ、引き続き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み